



馬と共に走り抜けた 日立中央工業協同組合

茨城県鍍金工業組合 理事長 鹿志村 高道
(有限会社カシムラ工業所)

茨城県鍍金工業組合で理事長をさせていただいております鹿志村です。今回で3度目の寄稿となります。

今回は、私が日立の地で表面処理団地の代表理事をさせていただいている日立中央工業協同組合について書かせていただきたいと思っています。この団地の構想が上がったのは、昭和62、3年の頃でした。もともとは、日立の南の端にある団地への進出を目指していたのですが、地元の漁協組合に反対され、その結果として日立市が選定してきたのが今の場所でした。この場所は古くは日立鉱山（現在はJX金属）の団地があった場所で海拔260mの山あいにある集合住宅地でした。昔の日立鉱山といえば、銅の採掘では、栃木の足尾銅山と並び日本で有数な採掘量を誇ったといわれています。そのような背景の中で多くの人が従事しておりました。そして過酷な条件下で戦前は事故で多数の人が亡くなられてしまったようでした。そのような方をきちんと葬ることもなく、地中に埋めてしまうこともあったと聞いておりました。ですからいろいろと感じる方が我々の団地に来ると胸騒ぎがするといわれました。そこで土地の供養をする上

でご紹介をうけたのが栃木県鹿沼市にある古峯原金剛山瑞峯寺というお寺でした。この寺は願い成就の為に護摩木を焚き護摩祈祷を行ってもらったものでした。すぐに団地の仲間と通い始めました。当初は、工業団地が出来るまでの半年くらいと思っておりましたが、気が付けば32年間毎月1回通うようになりました。そのお陰かどうか定かではありませんが（そのお陰と我々は信じています）我々の工業組合が紆余曲折がありながらも元気に仕事を続けられております。（今現在も環境再生機構と県とは協議中）

又、東日本大震災後は、毎年瑞峯寺の住職と団地の仲間とで1泊の旅もして親交を深めております。

しかし何と言っても30年以上にわたって毎月通えたのも金剛山瑞峯寺で護摩祈祷を行い、その後で精進落としの意味も込めて浅草まで車を飛ばし小さな馬券を買う楽しみがあったからだと思っています。これからも体の続く限り金剛山瑞峯寺で護摩祈祷を行い、その後浅草に行き小さな夢を馬に託したいと思えます。そして私、午年生まれです。今年1年走りまわります。